

研究・地域連携活動の背景・目的

モノは、「人間が使用（または利用）する」のが目的であるため、人間の心理や行動特性に基づいたデザインが要求される。このような要求に対応するために、私は人間の心理や行動特性の分析およびモノへの適用方法について研究を行っている。

期待される効果などアピールポイント

人間の未来を考え、利便性だけでなく、人間の心や行動パターンに応じたモノづくりを目指している。そして、自分の研究をあらゆるデザイン分野、そしてデザインと関連する分野で活用することを目指している。

研究・地域連携活動の概要紹介

【プロダクト・グラフィックデザイン分野】

既存の医薬品パッケージデザインは同社の製品、他社の製品と区別し難かった。それにより、医薬品を扱っている薬剤師が誤って処方したり、その医薬品を飲んでいる患者が誤飲したりする場合があった。これを改善するために薬剤師と患者を対象に医薬品を扱う際の行動特性を分析し、それに基づいて新デザインを開発した(図1)。

【インテリアデザイン分野】

既存の銀行のインテリアは暗くて硬いイメージが強く、ATMなどの機械音により冷たいと感じる利用者が多かった。これらを改善するために銀行を利用する際の利用者の行動の分析および心理状態を分析し、それに基づいて室内雰囲気および音環境を改善した新デザインを設計した(図2)。



図1 医薬品パッケージ

図2 銀行のインテリアデザイン